

三国湊共創プロジェクト研究 自社商品をアレンジして三国湊マーラータンを構想

令和8年3月3日

報道機関 各位

坂井市

坂井市とNTT西日本株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：北村亮太）、学校法人先端教育機構事業構想大学院大学（本部：東京都港区、学長：田中里沙）は、相互の連携を強化し、坂井市の発展に寄与するため、「地方創生の推進に関する包括連携協定」を締結し、観光振興・地域経済の活性化など地域振興に関する取り組みを推進しています。

市は、三国湊の賑わい創出と地域活性化に寄与する人材育成、並びに観光誘客につながる新たな取り組みを構想・実践し、持続可能な地域づくりを目指すため、令和7年8月から三国湊共創プロジェクト研究を開始しました。

事業構想大学院大学は、事業構想と構想計画を構築・実践する社会人向けの大学院です。このカリキュラムを活用して、応募のあった12名の研究員と共に三国湊を舞台に構想を進めてきました。

プロジェクトは進行中ですが、ひとりの研究員が構想した三国湊マーラータンは、地元既存店とのコラボレーションを実現し、地元食材を活用した新たな商品提供がきることとなりました。

1. 提供開始日時

令和8年3月11日（水曜日）15時30分から

2. 場所

えちぜん鉄道 三国駅舎内 café はあとの葉っぱ

3. マーラータンの提供時間

15時30分から17時まで

研究員の想い

福井県坂井市を訪れて、えちぜん鉄道に乗ると、車窓の景色がゆっくりと移り変わり、乗ること自体が観光になると感じました。三国駅は、地元の方々や三国高校の生徒さんが日常的に利用している場所、そこに「はあとの葉っぱ」がありました。オーナーさんは、「もっと若い人に、そして三国高校の生徒さんにも気軽につかってほしい」と話してくれました。

1時間に2本しかない電車の待ち時間に、高校生が楽しめ、それが観光動線にもなり、福井駅に滞在する人の目を三国へ向けるきっかけを作りたいと考えました。

そこで構想した事業が、500円で高校生でも無理なく手に取れる、ワンカップの和製マーラータンです。地元の食

材を詰め込み医食同源の考え方をベースにしました。

三国高校の生徒さんに、地元の食材が詰まった一杯を食べてほしい。そこから「この地域、やっぱりいいな」と、日常の中にある魅力が実は特別なものだと感じ、より地域のことを知り、好きになってもらえたら嬉しいです。

地元の人たち自身が、このまちの魅力を自然と外に発信していく。そんな循環が生まれていくことを目指しています。

発信者 企画政策課 藤田 智治

0776-50-3013